

当院は神戸市中央区にあります。北は緑豊かな六甲山、南は神戸港などの自然があり、すぐ近くに三宮や元町などの繁華街、また旧居留地や北野町といった神戸開港以来 150 年の歴史や文化を身近に感じられる風光明媚なとても良い立地です。2015 年に社会医療法人神鋼記念病院となりました。現在 29 科 333 床(ICU 6 床・HCU 18 床・CCU 4 床・SCU 3 床 を含む) あり、2011 年 6 月には兵庫県指定がん診療連携拠点病院、同 11 月には地域医療支援病院、2014 年 4 月には DPC 特定病院群の指定を取得しています。2016 年度外来患者数 1098 人/日、入院患者数 309 人/日、病床利用率 85.6%、平均在院日数 11.9 日、手術件数 3611 件、救急搬送数 4269 件/年と、年間 4000 台を越える救急車を受け入れ「紹介患者さん、救急患者さんは断らない」という姿勢を貫いている急性期病院です。

2008 年 4 月に呼吸器センターを開設し、呼吸器内科、呼吸器外科、放射線科、病理科が一体となって診療にあたっております。現在、呼吸器内科の責任病床数は 37 床ですが、冬など時に 50 床近くになることもあります。呼吸器内科には現在スタッフ 5 名、後期研修医 3 名が所属しておりますが、2018 年 4 月より呼吸器内科科長として大塚浩二郎先生が新たに赴任される予定です。また 6 月からは後期研修医も 1 名増える予定です。呼吸器外科は 3 名体制で、蜜に呼吸器内科と連携し、2016 年度は 83 名の肺癌患者さんが外科治療を受けました。呼吸器内科では、2016 年度のべ 310 人が肺癌治療で入院されました。また、健診センターと連携した企業の石綿検診は年間約 1200 例行っています。石綿の健康管理手帳保持者の検診も数多く行い、中皮腫や石綿肺癌の発見に努力しています。

気管支鏡施行件数は 2016 年度 318 例で、EBUS も積極的に導入しております。

2016 年度より重症喘息患者さんを対象とした気管支サーモプラスティを導入し同年度は 6 件施行し、兵庫県下でトップクラスの件数を実施致しました。間質性肺炎につきましては、当院には膠原病リウマチ科があることから診断時より蜜に連携しております。

今後も、神戸の中心部に位置する良い立地環境の中で、地域住民の方のために充実した呼吸器内科診療や研修ができるよう努めて参ります。